

<自然保護センター研修会報告： 令和5年1月28日（土）10:00~12:00>

本日午前中、福井県自然保護センター（大野市）において、三谷助成金事業に係る「雪の結晶観察研修会」を実施しました。福井県自然観察指導員の会員11名が参加され、雪結晶の顕微鏡観察を体験しました。また、雪結晶観察容器製作や、簡易ルーペ顕微鏡組み立てを行い、各自持ち帰って頂きました。当センターの場所は海拔も高く比較的低温（-4度）であり、良い雪が降ることも分かりました。チラチラ降る雪を融けないように保存して顕微鏡で覗き、スマホにも記録できて研修会参加者は皆大喜びでした。当センターには有名な“冬の野鳥レストラン”があり、一般の方が野鳥を見に訪れます。午後は一般の方にも雪の結晶を見てもらいました。



福井県自然保護センター



会場の工作室の外に大きなツララ



開会のあいさつ



実体顕微鏡で自然雪の観察



スマホで自然雪を顕微鏡撮影



簡易ルーペ顕微鏡の組み立て



冬の野鳥レストラン



レストランでエサをつぐむ野鳥